

マイナ保険証トラブル続く

負担割合異なる表一示

保団連告発

マイナンバー問題に
関して参院で開会中審
査が行われた26日、全
国保険医団体連合会
(保団連)は国会内で
会見し、全国の医療機
関でマイナ保険証と健
康保険証の情報が異な
るなど、現場で発生し
ている最新のトラブル
事例を公表しました。

竹田審雄副会長は、マイナ保険証やオンライン資格確認システムと、健康保険証の情報が異なっていた事例の詳細を説明。高齢者の場合、「健康保険証」とは異なる窓口負担割合が、オンライン上で表示される事例が散見される」と指摘。「トライ

は、(従来の)保険証の持参があつたため「上強調しました。
ウェブ上で参加した千葉市の医師は、自らのクリニックで患者が持参した保険証は3割負担なのに、システム上では2割負担と表されたトラブルがあり

て指摘「閑僚も責任を取らね」しない。そういうところに国風が一番、危機感を持ってい る」と強調。「トラブルを起さないために は、健康保険証の存続 が喫緊の課題だ」と訴 えました。

はありえない負担割合
例が公表されました。

住江憲男会長は、ト

はあらえない無抵抗の
が取り込まれた（20歳
は3割負担なのに2割
となつた）などの事

ラブル対策が整備され
ないままシステムが導
入されながら、「現場



会見する全国保険医団体
連合会=26日、国会内